



ひろしま農振

NEWS

ニユース

第3号

H6 7/1

【財団法人 広島市農業振興センター】

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770

新館完成、新たな気持ちでスタート



施設の顔

研究棟



◀ 土壌分析室

園芸バイテク室 ▶

◀ 畜産バイテク室

土壌分析室
園芸バイテク室

畜産バイテク室

研 修 室

3階

2階

1階

事務所

振興部 振興部長室
指導課 — 農産係
園芸課 — 畜産係
栽培係

計画部 理事長室
常務理事室
計画課 — 構造改善係
庶務係

計画部 参事室
工務課 — 基盤整備係
環境整備係

就任にあたって

財団法人広島市農業振興センター
理事長 川本 一夫

平成六年四月一日 財団法人広島市農業振興センター理事長に就任しました、川本一夫でございます。前任者同様よろしく願っています。

昨年より新しい事務所の建設を進めてまいりましたが、この程完成し、四月一日からすべての業務を新事務所で行うこととなりました。

当センターは広島市農業の発展のため、農畜産の経営、技術指導のほか、良好な生産基盤、生活環境基盤の整備拡充を図るため、ほ場整備や農業集落排水施設（農村下水道）の整備、啓発、工事などの業務を行っております。

さらに、市民生活に欠かせない豊富な食糧を供給する生産組織の育成、健全な余暇活動の場の提供、地域の自然の活用・保全という多面的な分野の業務も行ってまいります。

昨今の農業をとりまく情勢は、大きな展換期を迎えております。

これらの諸問題を地域の皆様とともに知恵を出し合い、都市型農業の確立をめざし、より効率的な農業の振興を図り、地域の活性化につなげて行くよう職員一同頑張っております。

どうか皆様方の深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



この広報紙は再生紙を使用しています。

ほ場整備完了間近 - 白木町甲田地区 - ～効率的な農業への一步をふみ出す～

昨年度から工事が行われてきました、白木町甲田地区のほ場整備がほぼ完成し、今年度から、一部のほ場において稲の作付けが行われました。



▲ 整備後



▲ 整備前

面積 12 ha
事業名 土地改良総合整備事業

夢のあるハウスを 地元の協力で建設 - 大寺グループ -

～ほ場整備の次は儲かる農業へ挑戦～

昨年度、ほ場整備が完了した白木町江地地区では、目下、ビニールハウスの建設ラッシュ！

地元、大寺の栽培農家のみなさんが協力して建設。ハウスでは、コマツナなどが周年栽培されます。また1つ儲かる農業への第一歩が始まりました。



～ハウスあれこれ～

市内所々で見られるハウス。このハウスには様々な顔があります。古くは木枠に障子張り、最近では間口2～3m程度のビニールハウスから、ガラス室まで、その用途や農家のみなさんの工夫によって、千変万化のようです。

市内では、パイプハウスが主流ですが、天井巻上げタイプ、増強型、バンドレスタイプなど改良型も現れました。

安佐北区で改良型ハウスを導入される佐藤和夫さんは、「少々、コストが高くても台風対策を考えれば、メリット十分」と語っておられます。



◀ 天井巻上げタイプのパイプハウス

地元待望の農業集落排水事業！ 今秋、一部供用開始！！ - 白木町井原地区 -

平成3年から工事を行なってきました白木町の井原地区では、今年度、汚水処理施設が完成し、地元世帯への供用開始が秒読み段階に入りました。

これから、各世帯での宅内配管工事や、地元管理組合の結成が進められ、今秋にはよいよ、一部供用開始となります。



▲ 完成間近の井原農業集落排水処理施設

～土から水へ ハイテク栽培の取り組み～

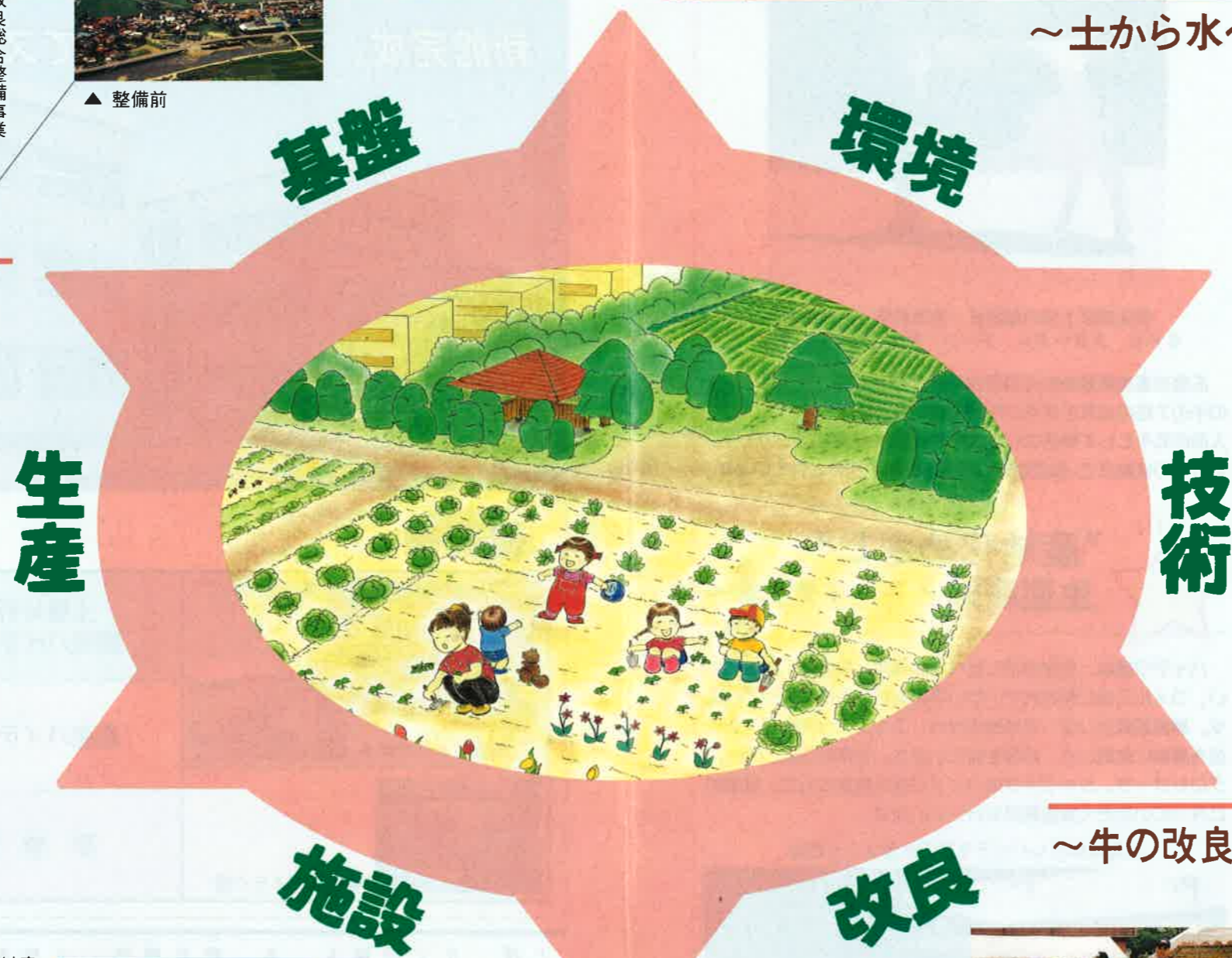
市内各所で養液栽培

市内でも養液栽培が少しずつですが、広がりをみせています。安佐北区では、ネギ、バラ、ガーベラ他、安佐南区ではレタス、チンゲンサイ、トマト他、佐伯区ではバラが栽培されています。栽培の方法は、野菜で水耕や砂耕、花きでは、ロックウール栽培等が行われています。

土耕栽培と比較した場合の利点は、①施肥や収穫作業等の管理労力が軽減できる ②農耕不能な土地でも利用できる ③単位面積当たりの収量が増える他。

不利な点は、①設備投資費が高い ②肥料の調整が複雑 ③病原菌が短時間に拡大する恐れが挙げられます。

安佐南区でチンゲンサイの砂耕栽培に挑戦している水本博善さんは、「まだ解決すべき問題は多くあるが、作業や管理が楽なので、ひとつずつ解決していくつもり。」と意欲的に語っておられます。



～牛の改良と、飼育技術の向上に向けて～

- 畜産共進会 -

広島市酪農振興協議会と白木町和牛改良組合では毎年恒例の「共進会」を開催しています。「共進会」とは牛の体型の美しさや、品格について優劣を競うものです。すぐれた牛になるかどうかは牛の遺伝的な要因だけでなく、飼育管理の技術も大きく影響してくるので、共進会は農家の皆さんの日ごろの成果をためず絶好のチャンスであり、励みにもなっています。また、お互いに競争し合うことによって、地域全体の、牛の改良と飼育管理技術が向上します。



▲ 広島市ホルスタイン共進会

◀ 白木町和牛改良組合共進会

TOPICS

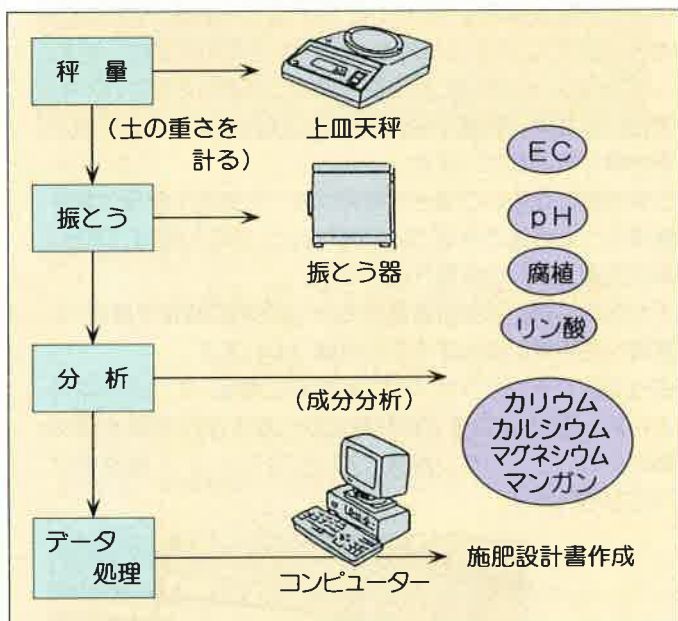
トピックス



“土の健康診断” やってみませんか

当センター園芸課では、土壌分析を行っています。
土壌分析とは、土の健康診断で、土壌に含まれる作物に必要な成分を調べることです。

調べた結果を基に、診断書を作り、作物別に施肥設計し、指導しています。



“広島市初”受精卵移植で 生まれたエリートカウが 出産



安佐南区上安の酪農家 栗原利吉さんの所有
ミドリ スターダム ジーン ET (H4・3・8生)

広島市畜産新技術推進協議会が所有するエリートカウ(普通の牛の2倍の泌乳力を持つ牛)の娘が4月に出産し、いよいよ一人前の乳牛として働きはじめました。同協会では初めてのエリートカウの後継ぎで、母親ゆずりの高泌乳量が期待されています。



“産地化めざし” 生産順調! ~バイテク苗~

バイテク苗は、従来の苗に比べて高品質、多収量、生育が早い、ウイルス病に侵されていない等の優れた特徴を持っています。農業振興センターでは昨年、フキ、ダリアのバイテク苗を農家に供給して、好評を得ています。今年からは、パセリ、グロリオサ、シャクナゲのバイテク苗を農家の方に、試験的に作っていただく実証展示も行っています。

産地化めざしバイテク苗の生産はフル活動



“新しい発見” 花みどり公園・安佐分場

青空に架かる鮮やかなオレンジラインの入った白い橋、この橋が「花みどり公園」に到着したことを最初に知らせてくれます。

この橋の名前は「花と緑のかけ橋」といい、橋の中央部には見晴らし台があり、「シャクナゲの国」そしてその回りに広がる「三国花木団地」を見渡すことができます。ちょっと背の届かないちびっこ達にも一緒に見てもらえるよう、ガラス窓もつけてあります。



「花みどり公園」においてになった時には、是非この架け橋の上からの景色を楽しんでみてください。何か新しい発見があるのでは!